

ウォーキングサッカーの推進について

～みんなを笑顔にする魔法のスポーツ～

2018年11月7日

スポーツアカデミー2018

笹川スポーツ財団会議室

Japan Football Association

公益財団法人日本サッカー協会
技術部グラスルーツ推進グループ

JFA



本日のアジェンダ

1. 自己紹介（サッカーとの関わり）
2. グラスルーツへの取組み
3. ウォーキングサッカーについて

1. 自己紹介（サッカーとの関わり）

1959年10月	広島県広島市にて出生	
1969年4月	小5（10才）からサッカーを始める 草津小→庚午中→国泰寺高	
1977年9月	青森国体に広島県選抜チームの一員として出場	
1978年4月	東京農業大学サッカー部入部	
1980年4月	全日本大学/関東大学サッカー連盟 幹事	※選手引退
1982年4月	ヤマハ発動機サッカー部入部（総務として3年務め退部）	
1985年4月	ヤマハクラブ（東海リーグ所属）入部	※選手復帰
1992年9月	Jリーグに出向/転籍 広報室→総務部→広報部→企画部	※選手引退
2003年1月	Jリーグ映像に出向	
2004年1月	日本サッカー協会に出向/転籍 技術部→広報部→代表チーム部	
2011年4月	Over50のシニアチームに所属	※選手復帰
2015年1月	グラスルーツ推進部（新設）へ異動	
2016年4月	日本障がい者サッカー連盟設立、専務理事を兼務	

＜私のミッション＞

サッカーで楽しい地域を創る♪

＜その手段＞

まぜこぜサッカー（インクルーシブフットボール）

ウォーキングサッカー（ウォーキングフットボール）

JFAグラスルーツ宣言 (2014年5月15日)

Football for All

サッカーを、もっとみんなのものへ。 JFAグラスルーツ宣言

サッカーを、もっとみんなのものへ。

年齢、性別、障がい、人種などに関わりなく、だれもが、いつでも、どこでも。私たち日本サッカー協会は、サッカー、そしてスポーツの持つすばらしさをもっともっと、たくさんみなさんと分かち合い、育みたいと考えています。

だれもが、サッカーの楽しさに触れられるように！

サッカーとのすばらしい出会いやきっかけを、たくさんご用意します。

だれもが、サッカーをもっと身近に感じられるように！

自分のニーズや希望にあったサッカーの選択肢を、次々と増やします。

だれもが、心からサッカーを楽しめるように！

安全に、安心してサッカーを楽しめる環境を、しっかりと整えます。

グラスルーツサッカーの主な課題

Football for All

サッカーを、もっとみんなのものへ。 JFAグラスルーツ委員会

途中でやめてしまう

- 子どもから大人になるまでに大勢の人達が途中でサッカーをやめてしまう。

施設が不足

- 選手数やチーム数、試合数に対する施設が十分ではない。
- ボール遊びができる公園が少ない。

試合に出場できない

- 勝利至上主義により、勝つために特定の人しか試合に出さない。

暴力・暴言・いじめ・差別

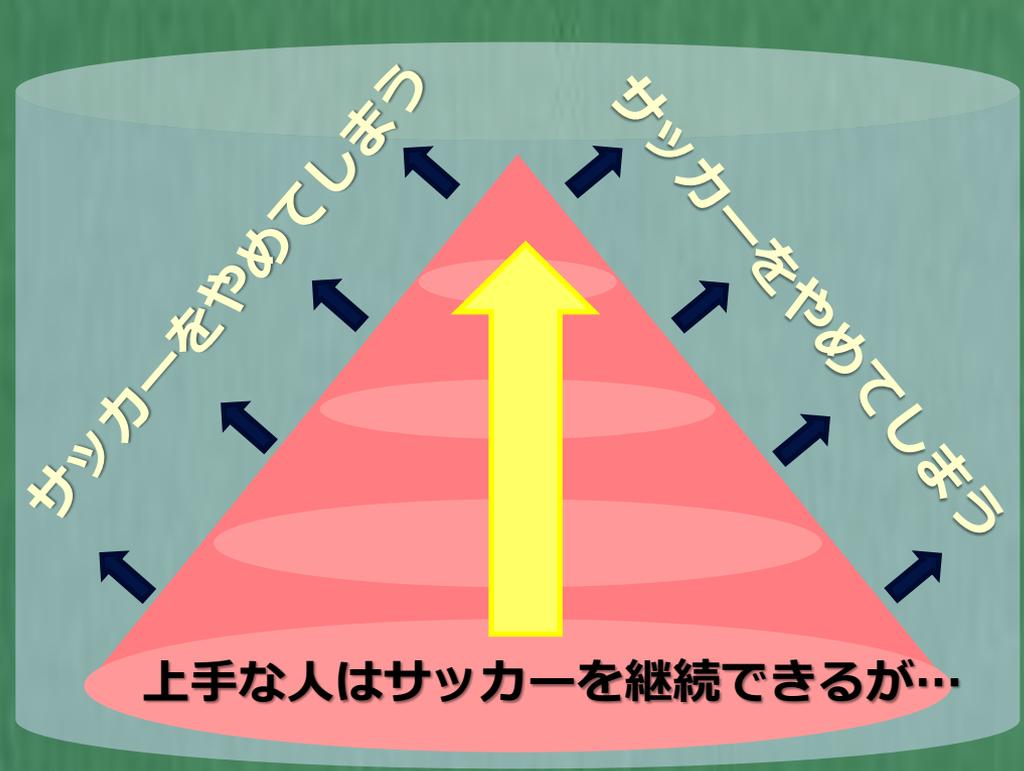
- 指導者の暴力・暴言
- 仲間からのいじめ
- 障害者への差別・偏見



Football for All

サッカーを、もっとみんなのものへ。 JFAグラスルーツ教育

競技力向上を目指すだけだと…





Football for All

サッカーを、もっとみんなのものへ。 JFAグラスルーツ教育

生涯スポーツとしてのベースを構築するために

それぞれの人達の生活圏内に
子どもからお年寄りまで
障がいがあるなしに関わらず
心からサッカーやスポーツを楽しめる
ハードとソフトが必要



Football for All

サッカーを、もっとみんなのものへ。 JFAグラスルーツ推進

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度

引退なし

ずっと
Enjoy♪

生涯を通して楽しめる

補欠ゼロ

みんな
Play!

みんなが試合を楽しめる

障がい者
サッカー

だれでも
Join♪

障がいの有無に関係なく楽しめる



Football for All

サッカーを、もっとみんなのものへ。 JFAグラスルーツ推進

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度

引退なし

ずっと
Enjoy♪

120団体

補欠ゼロ

みんな
Play!

140団体

障がい者
サッカー

だれでも
Join♪

97団体

178団体

(2018年10月30日現在)

賛同パートナーの活動の情報発信

Football for All

サッカーを、もっとみんなのものへ。JFAグラスルーツ教育

JFA.jp

代表 見る する 関わる

サッカーファミリー

楽しいグラスルーツをみんなで！
JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー

ずっとEnjoy 引退なし
JFA グラスルーツ推進・賛同パートナー

『引退なし』賛同パートナー

ずっとEnjoy
JFA グラスルーツ推進 賛同パートナー

※指導方法や選手への意識づけという面だけでなく、実際に切れ目なく定期的・継続的にプレーする場を提供している、または今後提供を予定している団体

事例紹介

- 2018/04/16 ずっとEnjoy♪ アレックスサッカーズが「親子サッカー」
- 2018/03/30 ずっとEnjoy♪ 広島市室内サッカーが「フットニクス」バレーサツ
- 2017/11/14 ずっとEnjoy♪ VIVA ENJOY FOOTBALLが「VIVA...



JFAニュースやJFAテクニカルニュースによる発信

サカイケ 自分で考えるサッカーを子どもたちに。
ジュニアサッカー（少年サッカー）の保護者向け情報サイト。

お問い合わせ サカイケ10か条 メールマガジン登録

連載
JFAグラスルーツ推進部部長が行く！あなたの街のサッカーチーム訪問

全 38 記事 1 2 次の20件

- 40%が初心者でも教習で対応できる！ 楽しんで続けられ、競技志向ではない生徒... 2018年2月27日
- サッカー未経験でも夢中になれる。試合に出られる楽しさから生徒が主体的に取り組... 2018年3月8日
- サッカーで目指す、障がいの有無を超え一層に輝く共生社会の実現② ～グラスルーツ... 2018年2月27日
- サッカーで目指す、障がいの有無を超え一層に輝く共生社会の実現① ～グラスルーツ... 2018年2月13日
- 第一線から退いてもサッカーができる「受け皿」に、地域クラブ・藤岡キッカーズが... 2017年12月14日
- 中学生年代も「浦久ゼロ」を推奨 不断の努

いま売れています！
無名のチームを
優勝に導いた！
ドリフトキック

Pickup
子どもが前向きになる食育づくりのヒントとは？
しつもんスクールトレーナーの副代表さんが教えます！

設立情報まとめ読み！
サカイケのため

メディアパートナー（サカイケ）による発信

JFAホームページによる発信

ウォーキングサッカーとの出会い

- 2015年1月31日に千葉で開催された「第2回障がい者・健常者交流イベント」で障がい者の人達と一緒に初めてウォーキングサッカーを体験した。
- インターネットで“Waliking Football”と検索したら、イングランドで凄いことになっていた！50才以上の人を楽しむクラブが約400もあった。
- 一方で、グラスルーツのクラブが施設を持ったり、持続していくための資金を集めたりする方法を模索していたら“ファンドレイジング”という言葉に当たった。
- “ファンドレイジング”を考えたり、実行している人達は、行政が十分に対応できない社会課題を解決しようとする人達だった。
- ウォーキングサッカーであれば、健康寿命延伸や認知症予防などの効果により、超高齢社会における医療費や介護費などの増大阻止や、高齢者が孤独にならないような楽しいコミュニティーづくりに役立つのではないかと考えた。

2. ウォーキングサッカーとは？

- ウォーキングサッカーは英語でWalking Footballという。
- 文字通り「歩くサッカー」ということで、走ってはいけない。
- 2011年7月にイングランドのチェスターフィールドFCコミュニティトラストで55歳以上の高齢者の健康のために始まった。
- Walking Football がプレーできるクラブはイングランドだけでも1,000以上あり、急速に増えている。

2014年：124

2016年：800

2018年：1,052（11/1現在）

- 参加料：1回£0～5（無料～750円）
- 他国にも広がっている。



Walking Football Association 競技規則2018 (抜粋)



- 6人制 (1チーム9人)
- 交代3名(交代回数は無制限)
- フィールド：[横]16m~35m [縦]25m~50m
- ゴール：[横]3m~5m、[高さ]1.2m~2m
- ゴールエリア：半径4m~6mの半円か長方形。GKしか入ってはいけない。
- ヘディング禁止、接触禁止、オフサイドなし
- サイドアウトはキックイン、ゴールラインアウトはアンダースロー
- ボールの高さは1.83m
- 一時退場(シビッソ)：2分間(ブルーカード)



イングランドの事例

WEST MIDLANDS (51ヶ所)

「Beechcroft Sports Club」 (バーミンガム)

Mon	(Age 50+)	11:00-12:30
	(Age 40+)	20:30-21:45
Tue	(Less Mobile)	11:00-12:00
	(Age 60+)	12:30-14:00
	(Age 65+)	14:30-16:00
Wed	(Age 70+)	09:45-11:00
	(Age 50+)	11:30-13:00
Thu	(Age 65+)	11:00-12:30
	(Less Mobile)	13:00-14:00
	(Age 40+)	18:45-20:00
Fri	(Age 60+)	11:30-13:00
	(Age 60+)	13:30-15:00
	(ladies only)	19:30-20:45
Sa	(Age 40+)	12:30-14:00



世界に拡大中

- ヨーロッパ :

<https://europeanlegends.eu/festival/>

<https://www.walkingfootballtours.com/>

- オランダ : <https://www.knvb.nl/door-mee/voetbalvormen/walking-football>

- スペイン :

<https://www.facebook.com/walkfootballspain/>

https://www.youtube.com/watch?v=yKhPq3_H7Ns

- ドイツ :

<http://www.dpa-international.com/topic/keeping-fit-old-age-walking-football-180503-99-160289>



日本でも始まっています！

- JFAハウス：月1回プチリーグ戦、月1回体験会
- NPOはらまちクラブ（福島県南相馬市）：週1回（火）
 ※2017年5月からスタート
 ※2018年10月20-21日、全国交流会@Jヴィレッジ
- 日本ウォーキング・フットボール連盟：大会開催（年1回）、体験会等
- 日本ウォーキングサッカー協会：体験会（月1回）等
- 日本障がい者サッカー連盟：まぜこぜスマイルサッカー（年1回）
- 自治体関連：
 富山県滑川市、鹿児島県与論町、埼玉県さいたま市、福井県越前市、
 岡山県岡山市、茨城県行方市、東京都スポーツ文化事業団、東京都文
 京区等
- 都道府県サッカー協会：
 千葉県、福島県、山梨県、鳥取県、長野県
- クラブ（Jリーグ、Fリーグ）：
 サンフレッチェ広島、横浜F・マリノス、清水エスパルス、大宮アル
 ディージャ、東京ヴェルディ、FC東京、ポアールス長野（F）



体験者の感想

- とっても楽しかった♪
- 笑いが絶えなかった♪
- ただ歩くよりよっぽどいい！
- またやりたい！
- 誰でも楽しめる！
- 奥が深い！
- かなり汗をかいた！
- 初心者でも楽しめる！

ウォーキングサッカーは..

- **誰でも楽しめる**（年齢、性別、障害の有無、サッカー経験の有無等に関係なく）
⇒新しいコミュニティの創造
- **サッカーを通じて社会に貢献できる**
⇒健康寿命の延伸、認知症予防等に効果的

◆日本は世界一の超高齢社会

65歳以上の人口比率 2013年 25%超
2033年 約33%
2050年 約40%

◆日本は認知症大国

日本の認知症患者数は世界の12%を占める

2012年 462万人(予備軍400万人) 65歳以上の7人に1人
2025年 700万人 65歳以上の5人に1人

社会的コスト:14.5兆円(GDP約3%)⇒24兆円(2060年)

家族の無償ケア: 2兆円



◆認知症予防に有効視されているもの

- 脳を働かせるもの（脳トレ等）
- 有酸素運動（脳機能の低下を防ぎ若く保つ）

継続が
大事！



今後の方向性（理想）

体験会

定期開催

フェスティバル
/トーナメント

リーグ

自由参加

チーム

クラブ
(ピッチ&クラブハウス)

終わりに

スポーツは社会課題解決のツールとなりうる！

- 競技スポーツ界は世界大会でのメダル獲得を目指し、日々競技力向上に努めているが、その一方で離れていく子供や経験のない大人にはあまり目を向けていない。
- 選ばれた人達への競技力向上だけを考えていてはスポーツ文化は育たない。
- 多くの競技者を抱える競技スポーツ界だからこそ、生涯スポーツとしての楽しむあり方や、スポーツを通じて社会に貢献するあり方も考え行動すべき。
- スポーツの力を社会課題解決に向けた時に、スポーツ界に新たな生態系が創造される。

Thank you.